

真宗学会

◇修士論文中間発表会

十二月五日(木) 於 本館会議室
発表

三願転入の実践的基盤 小笠原慈孝

— 宗祖の身証を包含して —

観経三心の研究 神戸 和麿

— 特に善導を中心にして —

行信論序説 松井 憲一

出席 稲葉教授、細川助教授、幡谷講

師、臼井助手他学生二十三名

◇卒業論文中間発表会

十二月十九日(木) 於 本館会議室

三経に於ける廻心の契機 塩谷 法顕

親鸞聖人の仏弟子観 高島 成中

真宗の俗諦義 小谷 暁

善導の三心釈 新田 修己

悪人正機論 谷内 文祐

出席 稲葉、二村教授、広瀬助教授、

幡谷講師、伊東、臼井助手他学生三十

一名

◇桂離宮見学並補導懇談会

十一月二十九日(金)

専攻生一同桂離宮を拝観したのち、会場を「多幸」に移し懇談会を行い、学界状勢、研究方法等に関する指導を受く。

出席、柴田、藤助教授、太田講師他研

究室員学生等十余名

国史学会

◇史蹟踏査

十一月十九日(火) 奈良西京方面

見学場所

西大寺、唐招提寺

指導 五来教授

出席 佐々木助手、学生十五名

◇史蹟踏査

十二月八日(日) 飛鳥方面

見学場所

岡寺、橘寺、弘福寺、飛鳥寺、山田寺

安部文殊

指導 柏原助教授、山本講師

出席 佐々木助手、学生五名

◇卒業論文中間発表会

十二月四日

於 国文学研究会

「暗夜行路」の研究

岡 敦子

「大鏡」のものものけ

菅原 碩真

謡曲に於ける仏教

友田 節彦

「雨月物語」の研究

吉野 正純

出席 多屋教授、山本助教授、仲野、

岡崎、渡辺講師、他学生八名出席

仏教史学会

◇三回生史蹟踏査

十一月十六・十七日(土) びわ湖一周

第一日 堅田本福寺、浮御堂、大崎観

音、踐ヶ岳、長浜別院泊

第二日 長浜別院大通寺、番場蓮華寺

多賀神社、彦根城、安土浄嚴院、安土

城跡

指導 藤島教授、北西助教授

参加 名畑助手、三回生十名

◇仏教史学会大会

故橋川正教授三十三回忌、故日下無倫

教授三十三回忌追悼仏教史学会大会

十一月三十日(土)

追悼法要 於 講堂

導師 曾我学長

來賓 橋川教授夫人、橋川隆円氏、日下教授夫人、日下律雄氏

公開講演 於 本館會議室

橋川正教授とその行績 石崎達二氏

日下無倫教授とその行績

廣小路 亨氏

終了後会場を會議室に移し、藤島教授、北西助教授、名畑助手以下学生会員に更に両教授の訓導を受けた先輩諸氏らを加え、御遺族を囲み歓談、両教授の遺徳を偲んで閉会した。

◇橋川、日下両教授遺著遺墨展観

十一月三十日〜十二月七日

於 図書館展示室

東洋史学会

東洋仏教史学会

◇卒業論文中間発表会

十一月二十七日(水)於 本館會議室

発表

唐の楊炎について

曲谷 知宣

明初の対外関係に関する一考察

―特に倭寇について― 東光 真澄

漢初における匈奴との関係

藤本 昭文

隋文帝考

細川 裕介

唐代浄土教者に関する一考察

松川 晋也

唐代律宗史の研究

遠藤 証円

百丈懷海考

久山 豊俊

出席 野上、稲葉(正)教授、間野、平野助教授、滋野井、滋賀助手他大学院、文学部学生三十五名

大谷大学史学会

◇「大谷史学」第十号発行

十二月一日

論文

大学衍義補の成立について

―大学衍義から衍義補へ―

六角堂考

間野 潜竜

―特に如意輪の信仰をめぐり親鸞の六角夢想に及ぶ―

中国における梵語仏典の重視

名畑 崇

源空教団と念仏停止

佐藤 心岳

吉田 清

◇秋季研究発表会

十二月七日(土) 於 十三番教室

発表

丹波の葬送習俗

吉田 清

江戸初期真宗寺院の土地経営

大桑 齊

石山本願寺における入破踊について

奥田 芳正

法然とその教団に対する

彈圧運動について 成田 俊治

ガルダンとダライ・ラマ 貫井 正人

白山神の機能と宗教者 沼 賢了

宣政院の二面的性格 藤島 建樹

発表終了後、會議室にて懇談会

出席 稲葉(正)会長、藤島、野上教授

柏原、北西、間野助教授、滋野井、名畑、滋賀助手他学生二十余名